

▶「一関市内の被災と復旧状況」をテーマに一関駅東口市民交流センター、市役所などで行われた岩手・宮城内陸地震関連パネル展。市、県、国などが提供した資料を見学した来場者は、改めて被害の大きさを感じていました(写真は6月14日、一関文化センター小ホール)



◀防災フォーラム会場内では防災指導車による地震体験も行われました。関東大震災と同じ震度7の揺れを体験した来場者。何かにつかまるものがないと倒れるほどの激しい揺れでした

青木 行政は、国・県市とそれぞれ役割分担がありますが、地域の方々にとっては関係ありません。どこに相談していいかわからないとの声をいただいています。

齋藤 携帯電話だけでなく、複数の情報伝達ルートで補完し合えるシステムが構築できればと思います。

山本 現在は、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。

山本 現在、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。

山本 現在、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。



地域防災力の高い一関 この教訓を引き継いで

パネリスト
山本聡さん
国土交通省岩手河川国道事務所長
昭和55年建設省入省。国土交通省土地・水資源局水資源部水資源調査室長を経て19年から現職

山本 現在、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。

山本 現在、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。

山本 現在、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。

山本 現在、市野々原の仮排水路を100年に一度の大雨にも耐えられるものにするため、掘削工事中です。今年度からは栗駒山系の砂防工事に着手しています。一関市街地の警井川堤防改修についても着手しているため、この3点で警井川流域の安全度を飛躍的に高めていきます。

行政とメディアの連携 平時から築くこと大切



パネリスト
宿輪智浩さん
IBC岩手放送報道局報道部主事
平成9年IBC岩手放送入社。岩手山噴火危機など災害報道に携わる。現在は県政担当

（佐藤前敵美18区行政区長続き）
本部との連絡が肝要。携帯電話の感度にはばらつきがある。衛星電話の配備も考えていただきたい。ヘリコプター発着所の整備も、地域ごとに考えていく必要があると思います。

宿輪 災害の記憶の風化は早いもの。一関は防災活動が盛んとの印象を受けていますが、この機会に、さらに地域防災力向上を目指してはどうでしょうか。行政の皆さんに対しては、マスコミへの取材対応で、本業に支障が出たのではないかと感じています。平時にメディアと行政、産業界との連携の場を作っていければ、ITを活用し、メディアと自治体の間で情報共有で

宿輪 災害の記憶の風化は早いもの。一関は防災活動が盛んとの印象を受けていますが、この機会に、さらに地域防災力向上を目指してはどうでしょうか。行政の皆さんに対しては、マスコミへの取材対応で、本業に支障が出たのではないかと感じています。平時にメディアと行政、産業界との連携の場を作っていければ、ITを活用し、メディアと自治体の間で情報共有で



パネリスト
坂本紀夫副市長
昭和38年旧一関市職員として採用。産業部長、建設部長を歴任。旧一関市助役、一関市助役を経て19年から現職

各組織での情報共有 すばやい対応のカギ

宿輪 岩手山危機の時に感じたのが、正しい情報を伝えるために必要なことは、まずメディアにきちんと理解してもらうこと。マスコミと行政は緊張関係も大切ですが、安全を守るためにはスクラムを組まなければなりません。建設的な批判も含めて、共通認識を持つことが重要です。坂本 大災害に向けた今回の教訓は、市だけの災害対策本部というだけでなく、県、国、ライフラインにかかわる企業などにも入っていた必要があるということ。情報を共有することが大切で、今回はそのあたりが比

宿輪 岩手山危機の時に感じたのが、正しい情報を伝えるために必要なことは、まずメディアにきちんと理解してもらうこと。マスコミと行政は緊張関係も大切ですが、安全を守るためにはスクラムを組まなければなりません。建設的な批判も含めて、共通認識を持つことが重要です。坂本 大災害に向けた今回の教訓は、市だけの災害対策本部というだけでなく、県、国、ライフラインにかかわる企業などにも入っていた必要があるということ。情報を共有することが大切で、今回はそのあたりが比

避難勧告を解除

市は6月12日正午、厳美町字市野々原地内の2世帯12人と同字柵木立地内の1世帯2人への避難勧告を解除しました。

家屋裏山の治山工事が進み、安全が確保されたことから、市災害警戒本部が決定したものです。

安全は確保されたものの、3世帯ともに自宅に大きな被害を受けているため当面は市野々原地内の2世帯は復興支援住宅で、柵木立地内の1世帯は自宅敷地内の別の建物で生活を続けています。

義援金申請期限を延長

岩手・宮城内陸地震に係る①墓石倒壊②宅地被害③農林水産物等④農地等への被害への義援金(見舞金)について、申請期限を7月31日(金)まで延長します。

◎問い合わせ先：①本庁児童福祉課福祉総務係②本庁建築住宅課建築指導係③本庁農政課☎84214本庁農地林務課農林土木係